

まえがき

本研究資料は、平成 30 年度～令和 2 年度のプロジェクト研究『農業・農村コミュニティの再生に向けた地域農業・農村社会の構造的な変化に関する研究』の中で実施した三つの小課題のうち、「農村集落の変容と将来の姿に関する研究」の研究成果を取りまとめたものである。

都市に先駆けて並進する農村地域の人口減少と高齢化は、今後、一段と加速すると見込まれており、生活利便性の低い中山間地域等の条件不利地域を中心に、存続の危機を迎える農業集落が数多く出現する懸念が強まっている。そしてこれら農業集落では、これまで長い間維持されてきた集落の共同機能が脆弱化し、農業生産活動のみならず地域資源の管理やコミュニティの維持にも大きな影響が及ぶと予想されることから、早期に何らかの対策を講じていくことが求められている。

そのため本研究では、第 1 ステップとして農山村における近年の人口動態と農業集落の変容状況、さらには農山村地域の将来像を、農林水産省統計部が作成している農業集落のデータベース（「地域の農業を見て・知って・活かす DB」）等を活用した統計分析から明らかにした後、第 2 ステップとして存続が危惧される集落が急増すると見込まれる地域の現状や、集落活性化に向けた積極的な取組を行っている先進事例について現地調査を行い、集落機能の維持による地域資源（農地等）の保全活動の促進等に向けた支援方策の検討を行うことを課題とした。

しかしながら、新型コロナウイルスの拡大によって、残念ながら第 2 ステップの現地調査を本プロジェクト研究の期間内に行うことができず、当初の目的を完遂することができなくなってしまった。そこで、残された現地調査が次期のプロジェクト研究等で再開できることを期待しつつ、第 1 ステップで実施した統計分析を拡充して、本研究資料に取りまとめることとした。必ずしも十分な分析がしつくされているわけではなく、残された課題も多いが、関係諸賢の忌憚のない御批判と御教示をお願いしたい。

令和 3 年 10 月

農林水産政策研究所
農業・農村構造プロジェクト
農村集落分析チーム